

質問事項		選択式回答	記述式回答
<b>経済動向</b>			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。		
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	経済のサービス化、グローバル化、情報化の動きの中で、それに対応した我が国の企業の事業モデル、業務プロセス、組織構造等の転換の遅れが今後の経済競争力にとってマイナスの影響を及ぼすことが危惧されます。製造業とサービス業という既存の区分を超えて、より高い次元から今後のサービス経済におけるイノベーション促進への取り組みを加速させていく必要があるかと思います。
<b>景気回復の拡大に向けた取組</b>			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。  ①設備投資・企業収益の増加		

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大		
	③個人消費の拡大		
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	No	<p>4つの取組の中で、特に中小企業の支援や、生産性向上・人材育成についての今後の課題としては、継続的なイノベーションを生み出す能力を組織として、また個人として、どのように育んでいくかという観点から検討がなされる必要があると思います。そのため生産性という指標だけでなく、新規のサービスや新規事業の創出、それに向けたチャレンジがどの程度起こっているかという側面に注目した政策検討が期待されます。例えば英国のデザインカウンスルのような、企業の創造性(広義のデザイン力)向上を支援・啓蒙する諮問機関の存在と、それによる財政および知的支援の具体化の取組は、我が国にとっても参考になるのではないかと思います。</p>
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	—	<p>我が国の経済成長への戦略としては、高い品質の「ものづくり」を高い顧客満足度の「サービスづくり」と統合するイノベーション施策の推進が望ましいのではないかと考えられます。ものづくり、サービスそれぞれで生産性を追求するのではなく、両者を結びつけることで、はじめて事業としての競争力が高まるものと期待されます。そのためには、モノの世界と情報の世界をつなぐテクノロジーの普及や、サービスデザインのような、モノ、ヒト、施設、パフォーマンスを横断する総合的な事業設計の方法論の啓蒙を行い、より戦略的かつ共創的にイノベーションに取り組む姿勢を、官民一体となって浸透させていくことが有効です。</p>